

慣用句(上級)プリント

月

日

名前

問1 「舌鼓を打つ」の意味はどれですか？

1. 美味しいものを食べて満足する 2. 急いで食事を済ませる 3. 言葉に詰まって言いよどむ 4. 舌を鳴らして不満を表す

問2 「折に触れる」の意味はどれですか？

1. 特定の状況下で、強く心を動かされる 2. 何かのきっかけで、急に思い出す 3. 偶然の出来事に遭遇し、驚く 4. 機会があるごとに、その時々で

問3 隠れ場所で () を殺してやり過ごした。() に入る言葉はどれですか？

1. 息 2. 目 3. 足 4. 手

問4 「歯ぎしりする」の意味はどれですか？

1. 自分の考えを曲げずに、頑固に主張し続ける 2. 硬いものを噛んで、歯をすり減らし続ける 3. 相手の弱点を見つけて、徹底的に追い詰める 4. 悔しさや怒りで、どうにもならない気持ちを抑える

問5 足が痛む祖母に () を貸して、駅まで歩いた。() に入る言葉はどれですか？

1. 腰 2. 肩 3. 手 4. 腕

問6 最終的な判断は彼に () を預けることにした。() に入る言葉はどれですか？

1. 足袋 2. 草履 3. 下駄 4. 靴

問7 「息を凝らす」を正しく使っている文はどれですか？

1. 物陰から獲物を狙うため、息を凝らした。 2. 息を凝らして大きな声で歌を歌った。 3. 息を凝らして肺の空気をすべて出した。 4. 息を凝らして激しく運動をした。

問8 前回の失敗で二の () を演じる。() に入る言葉はどれですか？

1. 舞 2. 幕 3. 役 4. 曲

問9 「頭打ちになる」の意味はどれですか？

1. 計画が途中で失敗し、最初からやり直すことになる 2. 激しい議論の末に、ようやく結論にたどり着く 3. 物事の成長や上昇が限界に達し、それ以上伸びなくなる 4. 高い目標を掲げすぎて、現実との差に苦しむ

問10 「袖の下」の意味はどれですか？

1. 袖の縫い目から出ている糸の端 2. 着物の袖の下にある隠しポケット 3. 相手を威圧するために袖をまくり上げること 4. 自分の利益のために、こっそり渡すわいろ

問11 「頭を丸める」を正しく使っている文はどれですか？

1. 寝癖がひどいので、朝から頭を丸めて整えた。 2. 散髪屋へ行って、きれいに頭を丸めてもらった。 3. 彼は頭を丸めて、帽子を深くかぶって出かけた。 4. 今回の不始末の責任をとり、彼は頭を丸める決意をした。

問12 「気が咎める」を正しく使っている文はどれですか？

1. 彼は気が咎める性格なので、すぐに怒り出す。 2. 友人に嘘をついてしまい、どうしても気が咎める。 3. 気が咎めるほど、彼は熱心に仕事に取り組んだ。 4. 試験で気が咎めたので、良い点数を取ることができた。

問13 不穏な気配に () 筋が寒くなった。() に入る言葉はどれですか？

1. 腰 2. 足 3. 背 4. 首

問14 料理には () に覚えがある。() に入る言葉はどれですか？

1. 指 2. 腕 3. 肘 4. 肩

問15 「目端が利く」を正しく使っている文はどれですか？

1. 暗い夜道でも目端が利くので、足元の石ころまでよく見える。 2. 目端が利く彼女は、遠くの景色を眺めるのが何よりも好きだ。 3. 彼は目端が利くので、必要な資料を先回りして用意してくれた。 4. 彼は目端が利くため、いつも自分のことばかり考えて行動する。

問16 この町に () を埋めるつもりで移住してきた。() に入る言葉はどれですか？

1. 骨 2. 首 3. 手 4. 足

問17 「手前味噌」を正しく使っている文はどれですか？

1. 手前味噌で恐縮だが、この料理は我ながらうまくできた。 2. 手前味噌をごねて、新しい味の味噌汁を開発した。 3. 彼は手前味噌をたくさん使って、美味しい汁物を作った。 4. 手前味噌を買いに、朝から市場へ出かけていった。

問18 失敗して思わず () を出して照れ笑いした。() に入る言葉はどれですか？

1. 舌 2. 頬 3. 顎 4. 歯

答え合わせ・解説

問1	答え 1 美味しいものを食べて満足する	「舌鼓を打つ」は「美味しいものを食べて満足する」という意味です。
問2	答え 4 機会があるごとに、その時々で	「折に触れる」は「機会があるごとに、その時々で」という意味です。
問3	答え 1 息	「息を殺す」の「息」の部分が入ります。意味は「呼吸の音を立てないようにして、じつと静かにしている」です。
問4	答え 4 悔しさや怒りで、どうにもならない気持ちを抑える	「歯ざりしする」は「悔しさや怒りで、どうにもならない気持ちを抑える」という意味です。
問5	答え 2 肩	「肩を貸す」の「肩」の部分が入ります。意味は「歩くのが困難な人の脇に寄り添い、支えて歩くのを助ける」です。
問6	答え 3 下駄	「下駄を預ける」の「下駄」の部分が入ります。意味は「物事の決定や処理を相手に一任する」です。
問7	答え 1 物陰から獲物を狙うため、息を凝らした。	「息を凝らす」の正しい使い方は「物陰から獲物を狙うため、息を凝らした。」です。意味は「呼吸の音さえさせないようにして、神経を集中させる」です。
問8	答え 1 舞	「二の舞を演じる」の「舞」の部分が入ります。意味は「前任者や他人の失敗と同じ失敗を繰り返す」です。
問9	答え 3 物事の成長や上昇が限界に達し、それ以上伸びなくなる	「頭打ちになる」は「物事の成長や上昇が限界に達し、それ以上伸びなくなる」という意味です。
問10	答え 4 自分の利益のために、こっそり渡すわいろ	「袖の下」は「自分の利益のために、こっそり渡すわいろ」という意味です。
問11	答え 4 今回の不始末の責任をとり、彼は頭を丸める決意をした。	「頭を丸める」の正しい使い方は「今回の不始末の責任をとり、彼は頭を丸める決意をした。」です。意味は「出家する、または責任をとって辞職や謝罪をする」です。
問12	答え 2 友人に嘘をついてしまい、どうにも気が咎める。	「気が咎める」の正しい使い方は「友人に嘘をついてしまい、どうにも気が咎める。」です。意味は「自分のしたことに対して良心が痛み、後ろめたい気持ちになること」です。
問13	答え 4 首	「首筋が寒い」の「首」の部分が入ります。意味は「何か悪いことが起こりそうな予感を感じて、不安や恐怖を感じる」です。
問14	答え 2 腕	「腕に覚えがある」の「腕」の部分が入ります。意味は「自分の技術や能力に自信がある」です。
問15	答え 3 彼は目端が利くので、必要な資料を先回りして用意してくれた。	「目端が利く」の正しい使い方は「彼は目端が利くので、必要な資料を先回りして用意してくれた。」です。意味は「その場の状況や必要を素早く察して、うまく立ち回ることができる」です。
問16	答え 1 骨	「骨を埋める」の「骨」の部分が入ります。意味は「その土地や仕事に一生を捧げる覚悟で定住すること」です。
問17	答え 1 手前味噌で恐縮だが、この料理は我ながらうまくできた。	「手前味噌」の正しい使い方は「手前味噌で恐縮だが、この料理は我ながらうまくできた。」です。意味は「自分で自分のことを褒めること」です。
問18	答え 1 舌	「舌を出す」の「舌」の部分が入ります。意味は「あざけりや失敗したときなどのしくさ」です。